

進路だより 第6号



令和8年（2026年）

9月14日発行

球磨支援学校進路指導部

高等部卒業後の進路先における在学中、身に付けておきたい力について

保護者の方から「社会に出る前にどんな力をつけておけばよいですか」という質問をいただきます。高等部卒業後の進路は、お子様の特性や体力、めざす暮らしに合わせて様々です。どの進路をめざす場合でも、在学中から少しずつ「将来に必要な力」を育てていくことが大切です。今回は、主な4つの進路（一般就労・就労継続支援A型・B型・生活介護）で特に求められる力を一覧表にまとめました。御家庭での取り組みの参考にぜひ御活用ください。

進路区分	求められる主な作業・活動	特に重点を置いて身に付けておきたい力
① 一般就労 (企業の障害者雇用など)	企業の定める労働時間(週20～40時間等)や作業基準・ノルマに沿った業務	・ 自己管理能力 : 一定の体調・メンタルを維持し、無遅刻・無欠勤で通う力 ・ 問題解決・報告力 : ミスや困りごとがあった際、自分から支援者や上司にSOSを出せる力 ・ 作業耐性・正確性 : 指示通りに作業を継続し、スピードと正確性を保つ力 ・ 移動力 : 公共交通機関を利用して自力通勤する力
② 就労継続支援A型 (雇用契約を結ぶ福祉就労)	雇用契約に基づく最低賃金以上の作業。一般就労に近い作業量・責任がある	・ 労働意欲とマナー : 働く姿勢、挨拶や返事、指示を守る基本的な社会性 ・ 一定の時間・作業への耐性 : 仕事を休むことなく、決められた勤務時間(1日4～5時間～)集中を保つ力 ・ 配慮の伝達 : 自分の得意・不得意や必要な配慮を言語等で伝える力
③ 就労継続支援B型 (雇用契約を結ばない福祉就労)	自分のペースに合わせた軽作業や自主生産活動(工賃支給)	・ 日課の定着 : 決まった時間に通所し、活動に参加する生活リズムの力 ・ 指示の理解・受け入れ : 簡単な手順やルールに従い、安全に作業する力 ・ 意思表示 : 体調不良や「やりたくない・疲れた」等の状態を適度な方法で伝える力 ・ 他者との関わり : 他の利用者と共に、決められた空間で過ごす力
④ 生活介護 (日中活動・介護等の支援)	食事・排泄・入浴などの介護受け入れ、創作活動や機能訓練など	・ 基本的生活習慣の安定 : 自立(または支援を受けながら)での排泄・食事・着脱する力 ・ 多様な意思伝達 : 表情・ジェスチャー・絵カード・機器等を用いた「YES/NO」を伝達する力 ・ 情緒の安定 : 自分の刺激に対する耐性を高め、穏やかに過ごせる時間を作る力 ・ 支援の受け入れ : 職員や介助者の介助をスムーズに受け入れることができる姿勢